

猫にまみれる **ニャン割**

周南市文化振興財団設立35周年・山口放送開局60周年記念

招き猫亭コレクション

猫まみれ展

アートになった猫たちー浮世絵から現代美術まで



2016年

7月1日(金) ▶ 8月28日(日)

9:30~17:00(入館は16:30まで) 月曜休館 ただし7月18日(祝)開館、翌19日(火)休館



受付で猫の写真(プリント、スマホ等のデジタルデータいずれも可)をご提示いただくと、当日料金から100円割引します。(他割引との併用不可)

主催 周南市美術博物館(周南市文化振興財団)、KRY山口放送、読売新聞社
後援 山口県、山口県教育委員会、周南市・下松市・光市・田布施町及び各教育委員会
協力 招き猫亭
企画協力 アートシード

①高橋弘明「ジャパニーズ・ポプテイル」1924年 紙・木版(部分) ②歌川国利「しんぼんねこ尽」明治初期 大判錦絵(部分)
③ 籾内佐斗司「寧子」1989年 木・漆 ④ 籾内佐斗司「尻上がり寧子」1993年 ブロンズ

観覧料 一般:1,000円(800円) 大学生:800円(600円) **18歳以下無料**

※()内は前売および20名以上の団体 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料(受付で証明できるものをご提示下さい)
※本展をご鑑賞の際は、常設展も無料でご覧いただけます

周南市美術博物館

Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花島町10-16 TEL (0834) 22-8880
<http://s-bunka.jp/bihaku/> @Shunan_bihaku





周南市文化振興財団設立35周年・山口放送開局60周年記念
招き猫亭コレクション

猫にまみれる **ニャッ夏。**

猫まみれ展

アートになった猫たち—浮世絵から現代美術まで

近年大人気の猫。そのかわいい仕草や神秘的な性格は多くの人に愛されています。芸術家も例外ではなく、古今の作家たちは猫をモチーフに多くの作品を創りました。招き猫亭さんはそうした猫の作品に魅せられ収集を続けるコレクターです。本展ではそのコレクションの中から、浮世絵や絵画、版画、彫刻など200点余りを展示します。この夏、周南市美術館が「猫館」に変貌します。



主な出品作家

歌川国芳、歌川広重、レオナルド・フジタ、
オーブリー・ピアズリー、テオフィル・
アレクサンドル・スタンラン、小林清親、
岸田劉生、椿貞雄、竹久夢二、
斎藤清、猪熊弦一郎、織田廣喜、
山本容子、藪内佐司、
アンディ・ウォーホルなど

【関連イベント】

○Music in Museum by 出光 2016 「昼下がりのプレイク!」

本展覧会とコラボしたコンサートです。<美術>と<音楽>の素敵な出会いをお楽しみください。
日時:7月2日(土) 14:00 開演
会場:周南市文化会館
※入場無料ただし整理券が必要です。
お申し込み方法は、周南市文化会館
(TEL 0834-22-8787)までお問合せください。

○関連展示

・当館所蔵の「猫」をモチーフとした作品もあわせて展示します。宮崎 進「猫のいる静物」、林 忠彦「壺井栄」(「日本の作家」より)、朝倉南陵「芥子に猫蝶図」・林忠彦記念室では「日本の画家」シリーズから写真38点を展示。本展出品作家、杉山寧、猪熊弦一郎、小糸源太郎の写真もあります。
※期間中、一部展示替えあり

○ニャン写真募集!

あなたの撮った猫写真(プリント)を募集!
会期中館内に掲示します。詳しくは当館HPへ。

○カフェにヤテ復活!【カフェテラスまで】

2013年「岩合光昭写真展 ねこ」開催期間限定メニュー「カフェにヤテ」が復活。
展覧会の後はぜひカフェテラスまでへ。

○ニャングッズ集合!

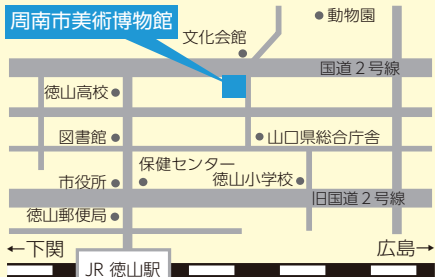
楽しいグッズが大集合。お楽しみに。

●まだまだ楽しいイベントを計画中、決まり次第当館HPで紹介します。

【次回展覧会のご案内】

第14回周南市美術展2016
前期 10月12日(水)~10月16日(日)
後期 10月19日(水)~10月23日(日)

アクセス



徒歩●JR徳山駅から約20分
車●山陽自動車道徳山東ICから国道2号線を下関方面へ約10分
バス●徳山駅より「バイパス経由のバス(⑥番乗り場)」または「金剛山経由イオンタウン周南行き(③番乗り場)」に乗り「動物園文化会館入口」下車→徒歩3分
駐車場●159台(催し物により他施設と共用になることがあります。ご了承ください。)

周南市美術館

Shunan City Museum of Art and History
山口県周南市花島町10-16 TEL(0834)22-8880
http://s-bunka.jp/bihaku/ @Shunan_bihaku



©Fondation Foujita/ADAGP,Paris&JASPAR,Tokyo, 2016 E2175 ④



⑤



⑥



⑦



⑧

©The MIMOCA Foundation
①歌川国芳「見立東海道五拾三次 岡部 猫石の由来」1847年 大判錦絵 三枚続
②歌川国芳「猫の百面相」1840年代 大判錦絵
③椿貞雄「たま寝る猫」1930年頃 紙・墨画着色
④レオナルド・フジタ「猫を抱く少女」1950年 紙・水彩
⑤竹久夢二「黒猫を抱く女」[やなぎ屋版] 1920年 紙・木版
⑥猪熊弦一郎「少年と猫」1950年頃 紙・グアッシュ
⑦猪熊弦一郎「少年と猫」1950年頃 紙・グアッシュ
⑧朝倉振「スベードの女王」2009年 キャンヴァス・ミクストメディア
⑨西誠人「伸太郎」2002年 木

